



ギネス世界記録に挑戦!

6月10日、古代蓮の里東側の水田で田んぼアート米づくり体験事業(田植え作業)が行われ、市内外から約800人が参加しました。

今年は、図柄の部分を拡大し、田んぼアート面積のギネスワールドレコーズ認定(世界一)を目指します。

参加者は、田んぼのぬかるみに悪戦苦闘しながら、丁寧に苗を植えていました。田植えの最中にカエルが現れると、そばに居た子供たちは大はしゃぎ。農業体験だけでなく、自然とも触れ合うことができた貴重な一日でした。

「蔵のあるまちぎょうだ」を満喫

5月19日・20日の2日間、「ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」が開催され、たくさんの参加者でにぎわいました。

この催しは、市内に点在する「蔵」の魅力を再認識しようと、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークが行っているもので、今年で8回目となります。

レトロ感溢れるボンネットバスの運行や16の蔵を巡るスタンプラリー、さらには「子ども人力車」も登場するなど、参加者は古き良き町並みが残る行田を満喫していました。



やはり今年も大人気 恒例の菊苗の無料配布

6月5日、郷土博物館玄関前で菊苗の無料配布が行われました。

毎年恒例のこの行事を楽しみに、先頭の方は午前7時30分に並んでいたとのこと。午前9時を過ぎると、行田市菊花連絡協議会の皆さんから用意された菊苗3,000本が次々と配られ、約30分間で終了となりました。苗を受け取った方は、きれいな菊の花に出会えることを期待しながら、会場を後にしました。

両手をあげバランス取って

5月19日、総合公園自由広場で第23回行田市一輪車競技大会が行われました。

この大会は、平衡感覚や敏しょう性を養う一輪車乗りで基礎体力の向上を図るだけでなく、児童が小学校の卒を超えて交流することを目的として行われたもの。

参加した103人の児童らは、50メートル競走、100メートル競走、30メートルスラローム競走、10メートル遅乗り競走など、それぞれの種目で一生懸命に前へ前へとペダルをこいでいました。



一緒にやると楽しいね!

5月24日、男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」で、「親子で楽しくリズム体操&かんたんせいさく!」が行われました。

参加したのは14組の親子。子供たちは大好きなお母さんや友達と一緒に、体操やダンスをはじめ、フラフープを足場に見立てたジャンプの練習、新聞紙と折り紙を使ったオリジナルの帽子作りなど、どの種目にも夢中になって取り組んでいました。



迫力のある演奏に魅了♪

6月3日、産業文化会館で行田市民吹奏楽団による第5回定期演奏会が行われました。

行進曲「マーチ・エイプリル・メイ」をはじめ、ジャズやポップスなどさまざまなジャンルの曲目が披露されました。

全国に通用する演奏を目標に、日々練習に励んでいる同楽団が奏でる演奏は迫力満点。会場を訪れたすべての人が、大迫力の演奏に魅了されていました。



水城公園をピカピカに!

5月19日、水城公園および公園通りで第16回「行田のまちをゴシゴシ みんなでクリーンなまちづくり」清掃活動が行われました。

初夏を思わせる陽気の中、水城公園をピカピカにしようと約350人が参加。公園内に落ちているペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻などを拾いました。

約1時間の清掃活動できれいになった公園は、訪れる人々をすがすがしい気持ちにさせることでしょう。

地域の「お兄さん、お姉さん」として

6月7日、埼玉小・中学校合同の防犯訓練が行われました。

今回で4回目を迎えたこの訓練に、児童・生徒のほかに地域の方も参加。行田警察署の協力のもと、日本刀を持った不審者が学校に侵入してきたときの対処方法を学んだ後、生徒と児童と一緒に下校し、各通学路の集合場所から一番近い避難所を確認しました。地域の「お兄さん、お姉さん」として、生徒らは責任を持って安全に児童を送り届けました。

